# 実証概要
Demonstration overview

兵庫県 県民生活部 くらし安全課

## 繁華街をもっと歩きやすく！ 禁止区域での客引きを防止したい！

**課 題**

- 客引き行為等の防止に関する条例を制定後、これまでに様々な客引き防止対策を実施し、一定の効果を挙げてきたが、コロナ禍以降は再び客引き行為が横行しており、根本的な対策が急務。
- 禁止地区指定地域において、客引きをしない・利用しない機運の醸成による、客引き行為者等の数を減少させたい。

**実証内容**

- AIカメラで滞留している人を検知し、注意換気する音声を放送・指導員へメール通知するシステムを、三宮北部地域、阪急西宮北口駅北西地域、JR甲子園口駅南側地域の3箇所で運用。

**採択企業** TOA株式会社

**実績・成果**

- 2024年5月の一回目の実験と比較して、客引きがいない時間帯が三宮(東門街周辺)で約3割上昇
- 三宮は客引き人数が前年同期比で約10%減少
- 西宮は客引き人数が実験前と比較して約20%減少

# 客引き行為をめぐる課題

兵庫県では「客引き行為等禁止地区」を指定し、指導員による指導やキャンペーンを展開

三宮北部地域
（H27.10指定）

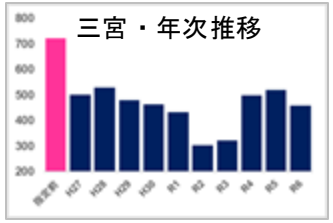
阪急西宮北口駅北西地域
（R6.5指定）

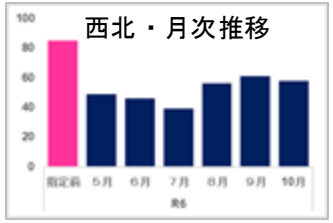
ＪＲ甲子園口駅南側地域
（R6.5指定）

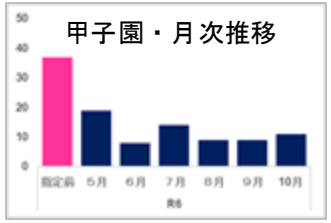
指導員による指導の様子

三宮北部地域はコロナ禍以降客引き行為が増加
西宮市の２地区は指定直後に減少した後横ばい

➡ 地元から実効性のある対策への期待




**指導体制**

| ～R6.9 | R6.10～ | R7.4～ |
|---|---|---|
| 7人 → | 8人 → | 11人 |

※R7.4～パトロール隊２名含む

**課題**

指導員がいないタイミングを狙って客引き行為を行う者に対する効果的な指導
通行人が客引きを利用しない環境につながる効果的な広報啓発

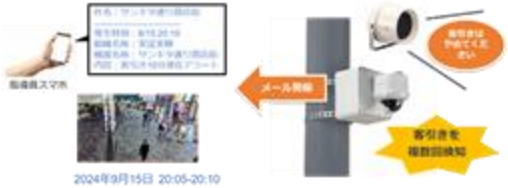
# 実証内容

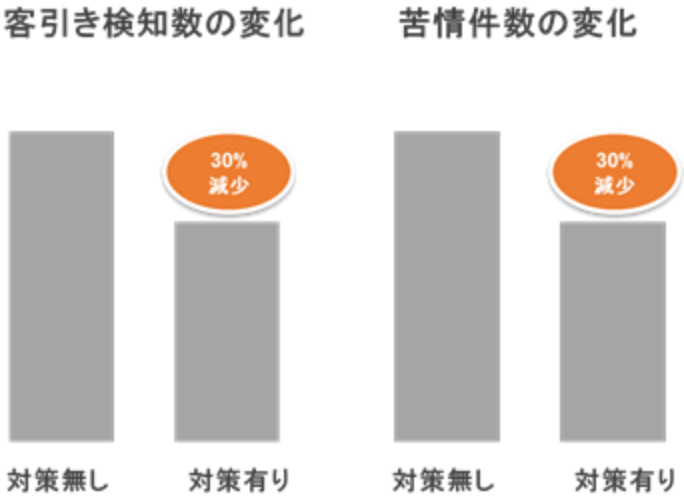
## AIカメラ・スピーカーを用いて
## 客引き検知数及び苦情件数を30%減少させる

①客引き向け放送（客引きを検知して放送）

②通行人向け放送（10分おきに放送）

③指導員にメール通知（10分間客引き検知すると発報）



# 実証結果①

## 客引き検知数及び苦情件数を30%減少させることができた

### 客引き検知数

三宮：**29.8**%減、西宮北口：**37.1**%減、甲子園口：**48.7**%減

### 苦情件数

全区間比で**34.2**%減、前年同月比で**27.3**%減

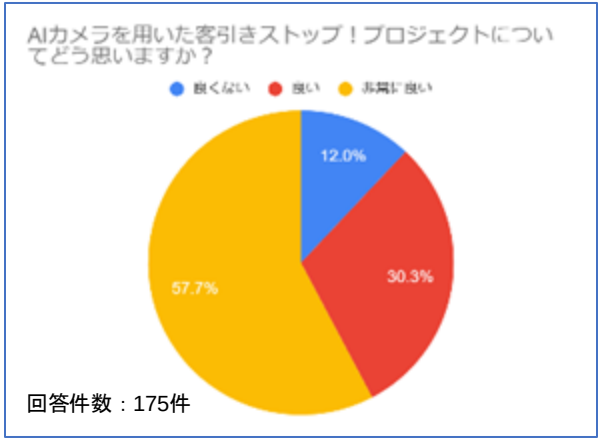
台数を増やしたことで、前回（2024年5-6月実施）結果より検知数は最大**61.4**%減

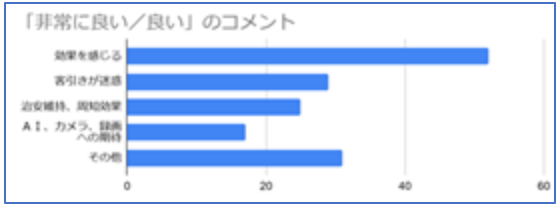
前回の実証実験（https://www.toa-global.com/ja/news/corporate/202405/240514）

# 実証結果②

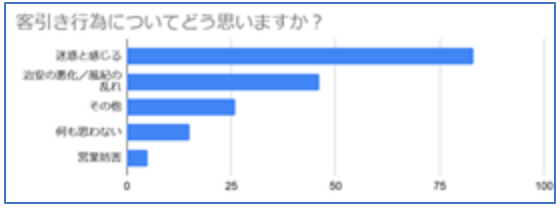
## 市民からは88%が良い取組と評価。指導員からも高く評価された

市民の声




【コメント抜粋】
・実際に客引きを止めていた。
・自分で注意するのは怖い。
・人手での対応は限界。
・まだ効果があるかはわからない。




【コメント抜粋】
・迷惑／怖いと感じることがある。
・通行の邪魔と感じる。
・子供への悪影響など許されない行為。
・風俗街の様であり、不愉快。

指導員の声

・客引き行為者から、「AI防犯カメラがあると客引きしにくいからやめて欲しい」との声があがっている

・客引きを周知するアナウンスが流れることで、通行人に声をかけやすくなった

・通知メールから検知した映像確認が可能となったことで、現場の状況を把握しやくすくなった

・人数の滞留を検知ではなく、客引き行為の検知が可能であれば、映像を活用した指導ができるのではないか

# 今後の展開

| | | |
|---|---|---|
| 課　題 | 指導員がいないタイミングを狙って客引き行為を行う者に対する効果的な指導 | 通行人が客引きを利用しない環境につながる効果的な広報啓発 |
| 対応策 | 客引き向けの注意喚起放送<br>指導員へのメール通知 | 通行人向けの啓発放送 |
| 効　果 | 客引き行為が一定減少<br>指導員が現場の状況を迅速に把握 | 客引き行為が一定減少<br>通行人アンケートでも高評価 |
| 改善点 | 動作解析による客引き行為自体の検知<br>場面に応じた注意喚起のバリエーション | デジタルサイネージなど訴求力が高い媒体と組み合わせた広報啓発 |

客引き行為の禁止の周知も含め今回の実験は大きな成果が得られたと認識
AI技術の進化により動作解析による客引き行為の検知に今後期待